

## 第 4 回みえ県民 1 万人アンケートの集計結果全体（概要）について

「強じんな美し国ビジョンみえ」では、“県民の皆さんが未来に希望をもち、幸福を感じながら、元気に、かつ安全・安心に暮らすことのできる持続可能な地域”を目指すこととしており、県民の皆さんの「生活の満足度」を把握し、県政運営に活用するため、1 万人の県民の皆さんを対象に実施しました。

今回、令和 8 年 1 月から 2 月にかけて実施した「第 4 回みえ県民 1 万人アンケート」の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

### I 調査の概要等

1 調査期間 令和 8 年 1 月～令和 8 年 2 月

2 調査方法 県内に居住する 18 歳以上の 10,000 人（選挙人名簿に記載の者）に対する郵送アンケート

調査票の回収は、記入した調査票の返送又はインターネットでの回答

3 有効回答数 5,130 人、有効回答率 51.3%  
(郵送回答 57.7%、Web 回答 42.3%)

4 調査項目

・生活の満足度

・県が注力している取組に関すること

▶ 「結婚」「子ども・子育て支援」「人材確保」「人口減少対策」「文化振興」「観光」  
「ジェンダーギャップの解消」「共生社会」「デジタル」「防災」

・回答者の属性に関すること

・自由意見

・問 16(県職員採用)については分析中であり、現時点での公表は差し控えさせていただきます。

5 その他

第 4 回みえ県民 1 万人アンケートの集計結果をまとめた報告書は、7 月 2 日（木）に県ホームページに掲載する予定です。また、県庁や各県庁舎（地域防災総合事務所、地域活性化局等）に配置する予定です。

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki/>

## 6. 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、性別、年齢、配偶関係、世帯類型、主な職業、共働き、世帯収入、地域の8つとしています。

(2) 回答者属性の構成比について、第3回みえ県民1万人アンケート（以下、前回調査）との差における主な特徴は次のとおりです。

- ・性別では、男女比は前回同等となっています。
- ・年齢別では、「70歳以上」の割合が前回調査より高く、その他の年代はいずれも前回調査よりも低くなっています。
- ・配偶関係別では、「死別・離別」の割合が前回調査より高く、「有配偶」の割合が低くなっています。
- ・世帯類型別では、「単身世帯」の割合が前回調査より高く、「二世帯世帯」の割合が低くなっています。
- ・主な職業別では、「無職」の割合が前回調査より高く、「正規職員」の割合が低くなっています。
- ・共働き状況については、「していない」の割合が前回調査より高く、「している」の割合が低くなっています。
- ・世帯収入別では、前回調査と比べて大きな変化はみられません。
- ・地域別では、前回調査と比べて大きな変化はみられません。

図表1 回答者の属性（地域を除く）

| 属性    | 属性項目         | 件数    | 構成比 (%) |       | (前回差) |
|-------|--------------|-------|---------|-------|-------|
|       |              |       | 今回      | 前回    |       |
| 性別    | 男性           | 2,263 | 44.1    | 44.2  | △ 0.1 |
|       | 女性           | 2,791 | 54.4    | 54.4  | 0.0   |
|       | その他          | 17    | 0.3     | 0.3   | 0.0   |
|       | 不明           | 59    | 1.2     | 1.1   | 0.1   |
| 年齢    | 18歳から20歳代    | 305   | 5.9     | 7.8   | △ 1.9 |
|       | 30歳代         | 413   | 8.1     | 10.9  | △ 2.8 |
|       | 40歳代         | 679   | 13.2    | 15.9  | △ 2.7 |
|       | 50歳代         | 956   | 18.6    | 19.6  | △ 1.0 |
|       | 60歳代         | 1,067 | 20.8    | 22.2  | △ 1.4 |
|       | 70歳以上        | 1,620 | 31.6    | 21.7  | 9.9   |
|       | 不明           | 90    | 1.8     | 2.0   | △ 0.2 |
| 配偶関係  | 未婚           | 827   | 16.1    | 16.6  | △ 0.5 |
|       | 有配偶          | 3,441 | 67.1    | 71.8  | △ 4.7 |
|       | 死別・離別        | 743   | 14.5    | 9.3   | 5.2   |
|       | 不明           | 119   | 2.3     | 2.3   | 0.0   |
| 世帯類型  | 単身世帯         | 702   | 13.7    | 8.3   | 5.4   |
|       | 一世帯世帯        | 1,680 | 32.7    | 33.9  | △ 1.2 |
|       | 二世帯世帯        | 2,206 | 43.0    | 48.0  | △ 5.0 |
|       | 三世帯世帯        | 410   | 8.0     | 8.0   | 0.0   |
|       | その他世帯        | 60    | 1.2     | 0.6   | 0.6   |
|       | 不明           | 72    | 1.4     | 1.3   | 0.1   |
| 主な職業  | 農林水産業        | 131   | 2.6     | 1.8   | 0.8   |
|       | 自営業・自由業      | 407   | 7.9     | 8.1   | △ 0.2 |
|       | 正規職員         | 1,510 | 29.4    | 33.3  | △ 3.9 |
|       | パート・アルバイト・派遣 | 1,000 | 19.5    | 22.1  | △ 2.6 |
|       | その他の職業       | 182   | 3.5     | 3.5   | 0.0   |
|       | 学生           | 86    | 1.7     | 2.5   | △ 0.8 |
|       | 専業主婦・主夫      | 526   | 10.3    | 10.1  | 0.2   |
|       | 無職           | 1,226 | 23.9    | 17.5  | 6.4   |
|       | 不明           | 62    | 1.2     | 1.2   | 0.0   |
| 共働き   | している         | 1,793 | 35.0    | 42.7  | △ 7.7 |
|       | していない        | 3,075 | 59.9    | 54.3  | 5.6   |
|       | 不明           | 262   | 5.1     | 2.9   | 2.2   |
| 世帯収入  | 100万円未満      | 239   | 4.7     | 3.5   | 1.2   |
|       | ～200万円未満     | 515   | 10.0    | 8.4   | 1.6   |
|       | ～300万円未満     | 769   | 15.0    | 14.7  | 0.3   |
|       | ～400万円未満     | 679   | 13.2    | 13.0  | 0.2   |
|       | ～500万円未満     | 507   | 9.9     | 10.5  | △ 0.6 |
|       | ～600万円未満     | 447   | 8.7     | 9.1   | △ 0.4 |
|       | ～800万円未満     | 649   | 12.7    | 13.7  | △ 1.0 |
|       | ～1,000万円未満   | 402   | 7.8     | 8.2   | △ 0.4 |
|       | 1,000万円以上    | 409   | 8.0     | 8.8   | △ 0.8 |
|       | わからない        | 439   | 8.6     | 8.8   | △ 0.2 |
| 不明    | 75           | 1.5   | 1.2     | 0.3   |       |
| 有効回答数 |              | 5,130 | 100.0   | 100.0 | 0.0   |

図表 2 回答者の属性（地域）

| 属性     | 地域     | 属性項目 | 件数    | 構成比 (%)     |             |       | (前回差) |
|--------|--------|------|-------|-------------|-------------|-------|-------|
|        |        |      |       | 今回<br>(市町別) | 今回<br>(地域別) | 前回    |       |
| 市<br>町 | 北勢地域   | 桑名市  | 382   | 7.4         | 46.3        | 46.8  | △ 0.5 |
|        |        | いなべ市 | 140   | 2.7         |             |       |       |
|        |        | 四日市市 | 870   | 17.0        |             |       |       |
|        |        | 鈴鹿市  | 535   | 10.4        |             |       |       |
|        |        | 亀山市  | 150   | 2.9         |             |       |       |
|        |        | 木曽岬町 | 16    | 0.3         |             |       |       |
|        |        | 東員町  | 86    | 1.7         |             |       |       |
|        |        | 菰野町  | 123   | 2.4         |             |       |       |
|        |        | 朝日町  | 29    | 0.6         |             |       |       |
|        |        | 川越町  | 43    | 0.8         |             |       |       |
|        | 伊賀地域   | 伊賀市  | 277   | 5.4         | 10.2        | 9.5   | 0.7   |
|        |        | 名張市  | 247   | 4.8         |             |       |       |
|        | 中南勢地域  | 津市   | 810   | 15.8        | 27.6        | 27.0  | 0.6   |
|        |        | 松阪市  | 484   | 9.4         |             |       |       |
|        |        | 多気町  | 38    | 0.7         |             |       |       |
|        |        | 明和町  | 61    | 1.2         |             |       |       |
|        |        | 大台町  | 22    | 0.4         |             |       |       |
|        | 伊勢志摩地域 | 伊勢市  | 323   | 6.3         | 12.0        | 12.1  | △ 0.1 |
|        |        | 鳥羽市  | 42    | 0.8         |             |       |       |
|        |        | 志摩市  | 129   | 2.5         |             |       |       |
|        |        | 玉城町  | 47    | 0.9         |             |       |       |
|        |        | 度会町  | 19    | 0.4         |             |       |       |
|        |        | 大紀町  | 21    | 0.4         |             |       |       |
|        |        | 南伊勢町 | 33    | 0.6         |             |       |       |
|        | 東紀州地域  | 尾鷲市  | 36    | 0.7         | 3.3         | 3.8   | △ 0.5 |
|        |        | 熊野市  | 43    | 0.8         |             |       |       |
| 紀北町    |        | 43   | 0.8   |             |             |       |       |
| 御浜町    |        | 23   | 0.4   |             |             |       |       |
| 紀宝町    |        | 24   | 0.5   |             |             |       |       |
|        | 不明     | 34   | 0.7   | 0.7         | 0.7         | 0.0   |       |
| 有効回答数  |        |      | 5,130 | 100.0       | 100.0       | 100.0 |       |

## Ⅱ 集計結果（概要）

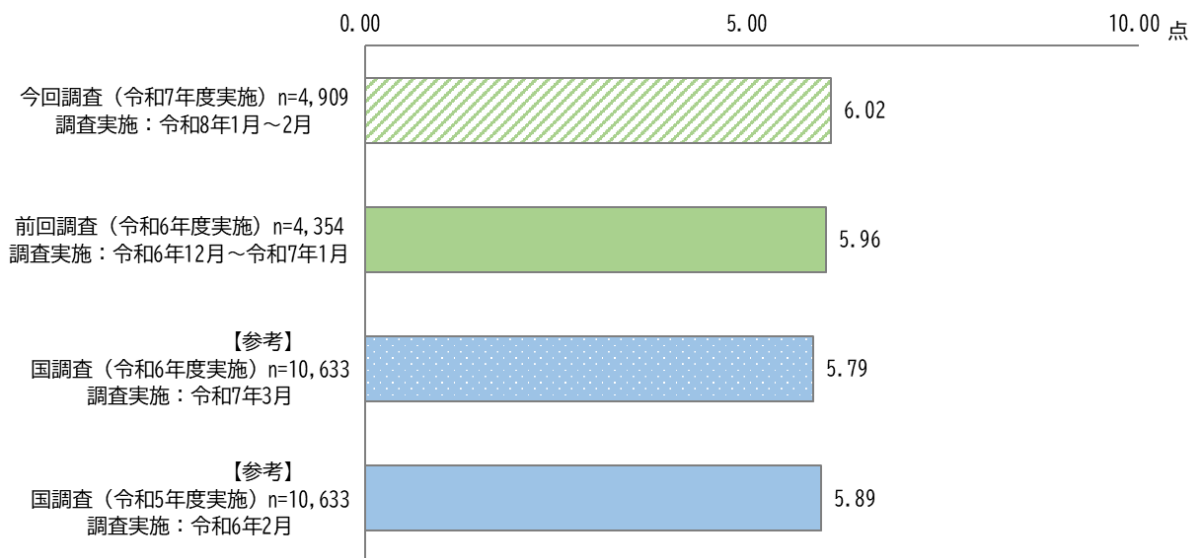
### Ⅰ 生活の満足度について

#### （Ⅰ）現在の生活の満足度

**問Ⅰ** あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。  
「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、  
何点くらいになると思いますか。

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は6.02点で、前回調査より0.06点高くなっています。

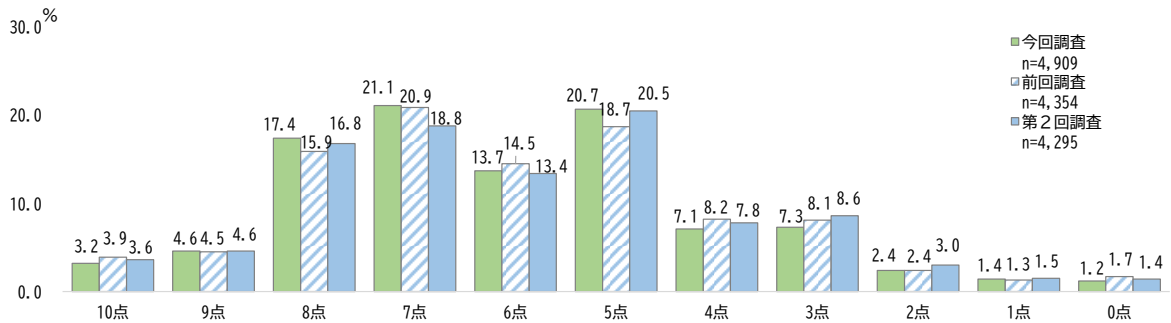
図表3 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、総合的な主観的満足度及び分野別満足度を調査し、客観指標との関係性を明らかにすることを目的に平成31年から実施。約10,000人へのインターネット調査（うち5,200人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が21.1%と最も高く、次いで「5点」が20.7%、「8点」が17.4%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「5点」「8点」の割合が上昇し、「4点」や「3点」の割合が低下しています。

図表4 生活の満足度の分布（前回調査との比較）



(2) 現在の生活の満足度

**問2** 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。

- ① 家計と資産
- ② あなた自身の給料や報酬・賃金
- ③ 仕事のやりがいや生活とのバランス
- ④ 健康状態
- ⑤ 医療サービス
- ⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ
- ⑦ 子育てのしやすさ
- ⑧ 子どもの教育
- ⑨ 交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
- ⑩ 身のまわりの自然環境
- ⑪ 自然災害への備え
- ⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全
- ⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい
- ⑭ 移動手段、交通の便利さ

○選択肢はいずれも下記の通りです。

5 満足 4 どちらかといえば満足 3 ふつう

2 どちらかといえば不満 1 不満 0 わからない・あてはまらない

- 「14分野別の満足度」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる分野別の満足度を調べ、全体としての生活の満足度を把握します。
- 生活の幅広い範囲について包括的に評価できる体系として総合的な主観満足度とは別に、生活に関連した14分野で設定した質問となっています。

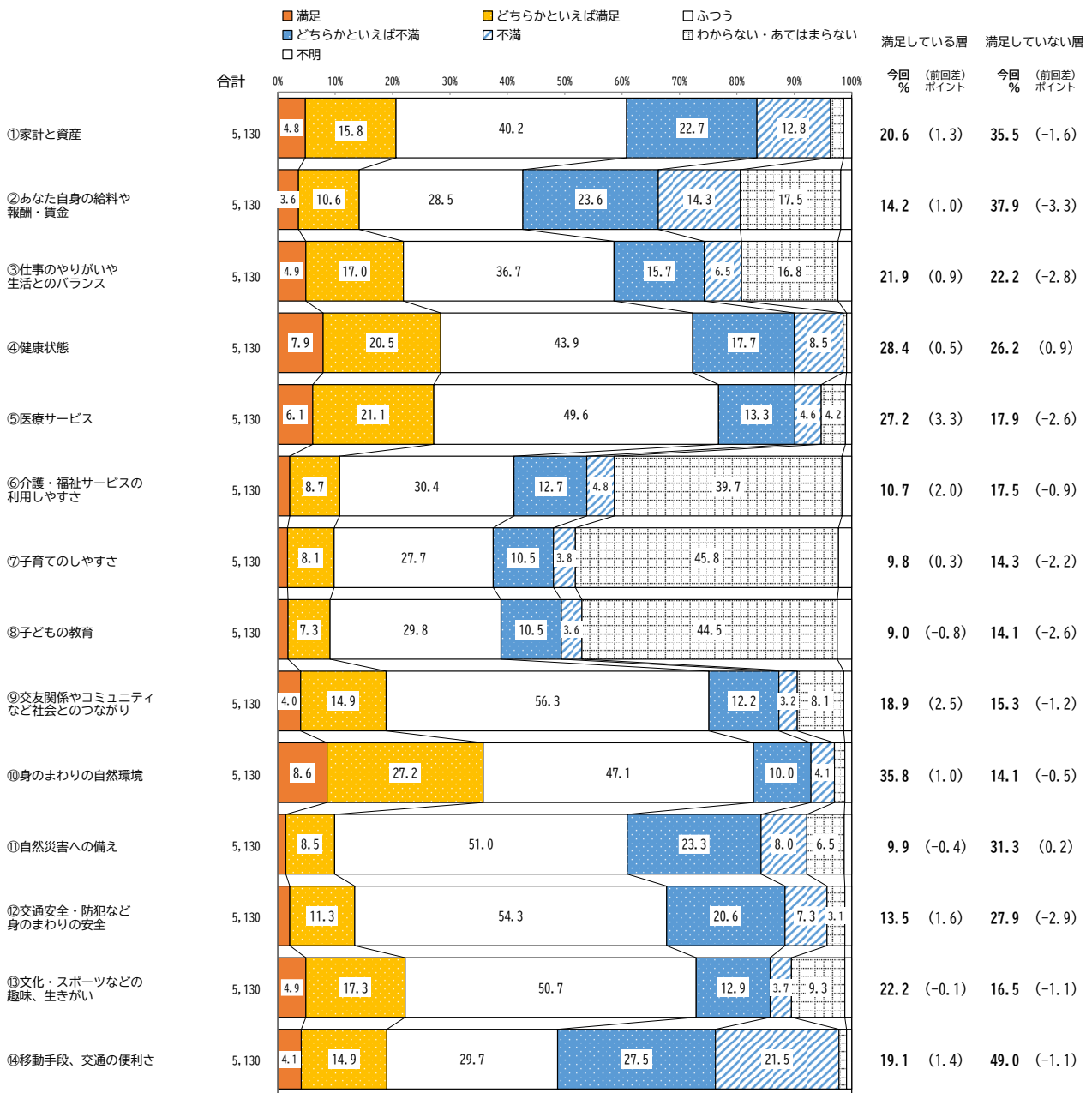
【「満足している層」の割合】

- 14分野別の満足度について、5点満点で質問したところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が35.8%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」(28.4%)、「⑤医療サービス」(27.2%)の順となっています。

【「満足していない層」の割合】

- 「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した「満足していない層」の割合は、「⑭移動手段、交通の便利さ」が49.0%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」(37.9%)、「①家計と資産」(35.5%)の順となっています。

図表5 14分野別の満足度（一覧）



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値  
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値  
 ※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

## 2 県が注力している取組に関することについて

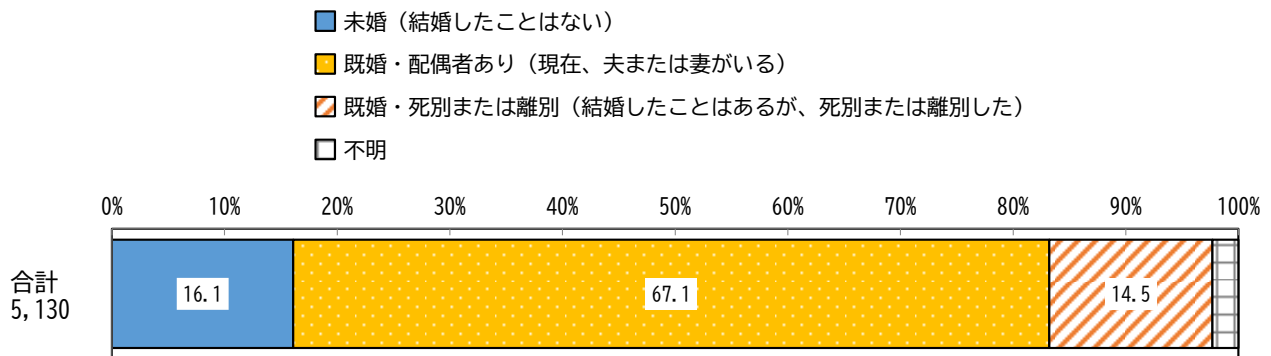
- 県が注力している取組については、「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念の実現に向けて取組を一層加速させていかなければならないと考えられる課題を抽出し、積極果敢に対応していくため、県民の皆さんの実感や状況をみえ県民1万人アンケートでお聴きしました。

### ○ 結婚について

**問3** あなたは、これまでに結婚したことはありますか。

- 回答者の配偶関係は、「未婚」が16.1%、「有配偶」が67.1%、「死別または離別」が14.5%となっています。

図表 6 配偶関係

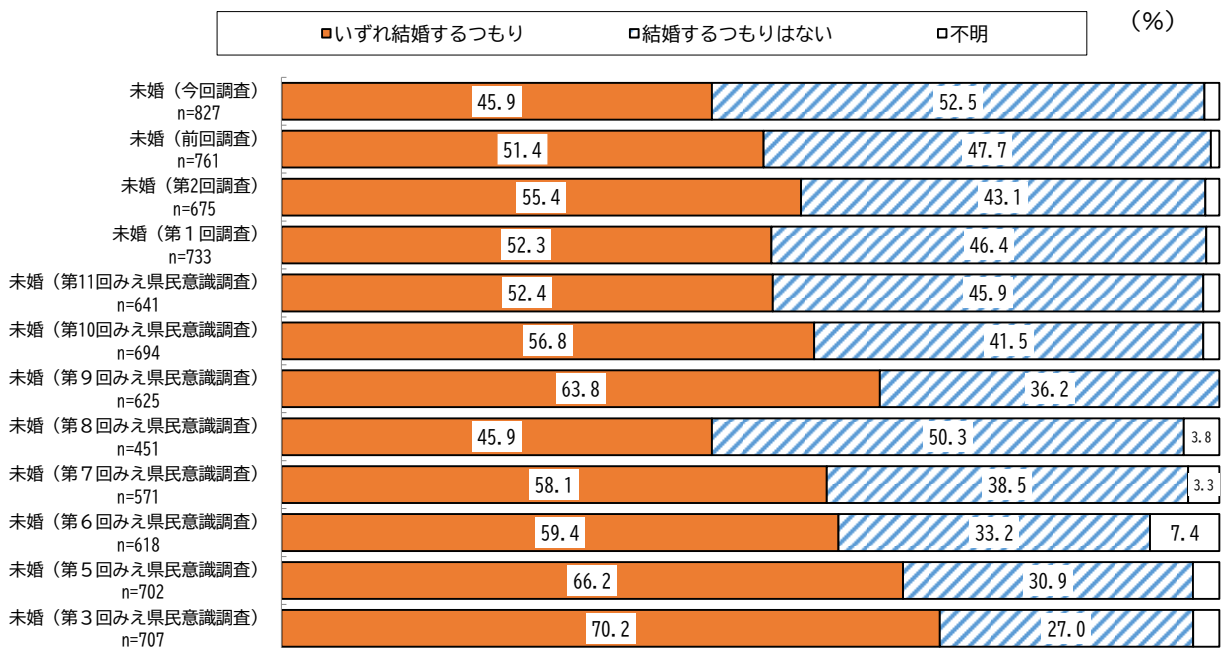


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

**問 3-2** これまでに結婚したことがない方（問 3 で「未婚」を選んだ方）におききします。  
 今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

○ 結婚に対する考え方について、未婚の方は「いずれ結婚するつもり」が 45.9%、「結婚するつもりはない」が 52.5%となっています。

図表 7 未婚の方の結婚に対する考え方



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

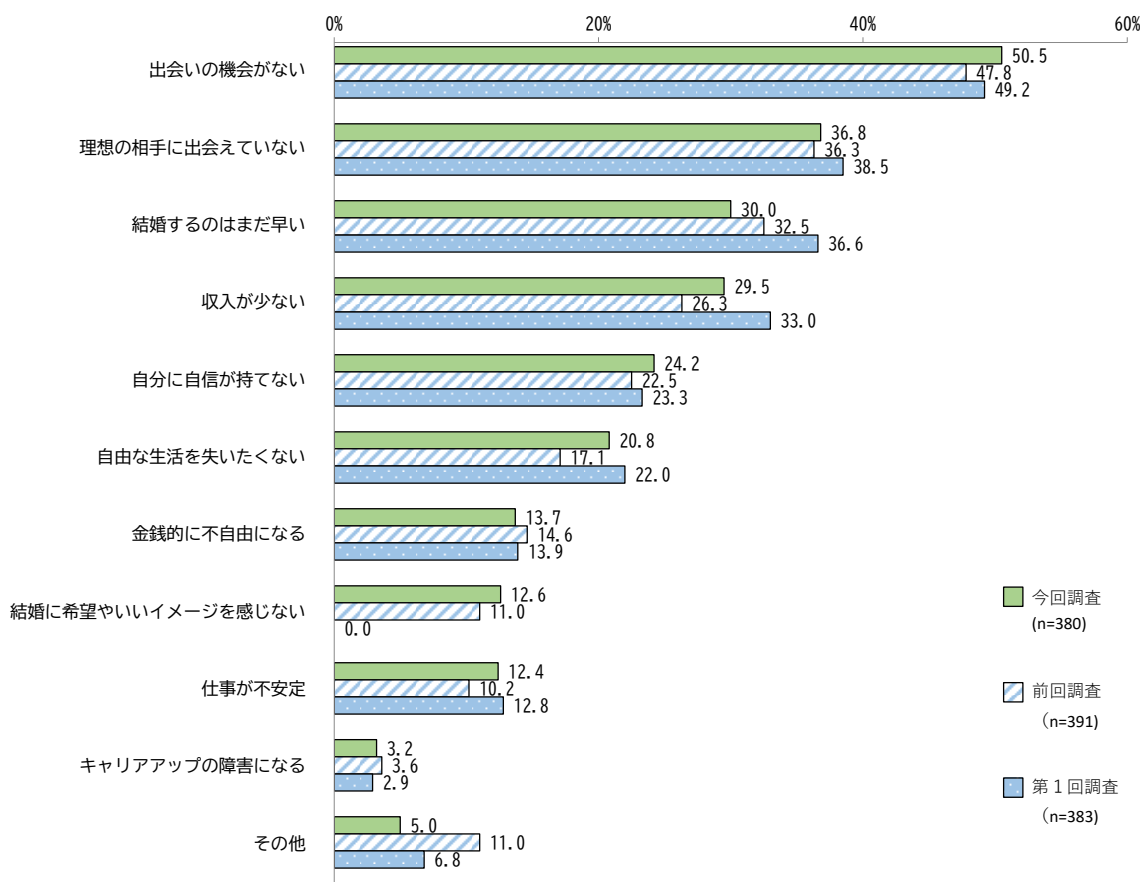
**問 3-3 問 3 で「いずれ結婚するつもり」を選んだ方におききします。**

現在、結婚していない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- 現在、結婚していない理由について、「出会いの機会がない」が 50.5%、「理想の相手に出会えていない」が 36.8%となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「自由な生活を失いたくない」が 3.7 ポイント、「収入が少ない」が 3.2 ポイント増加しています。

図表 8 現在、結婚していない理由



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

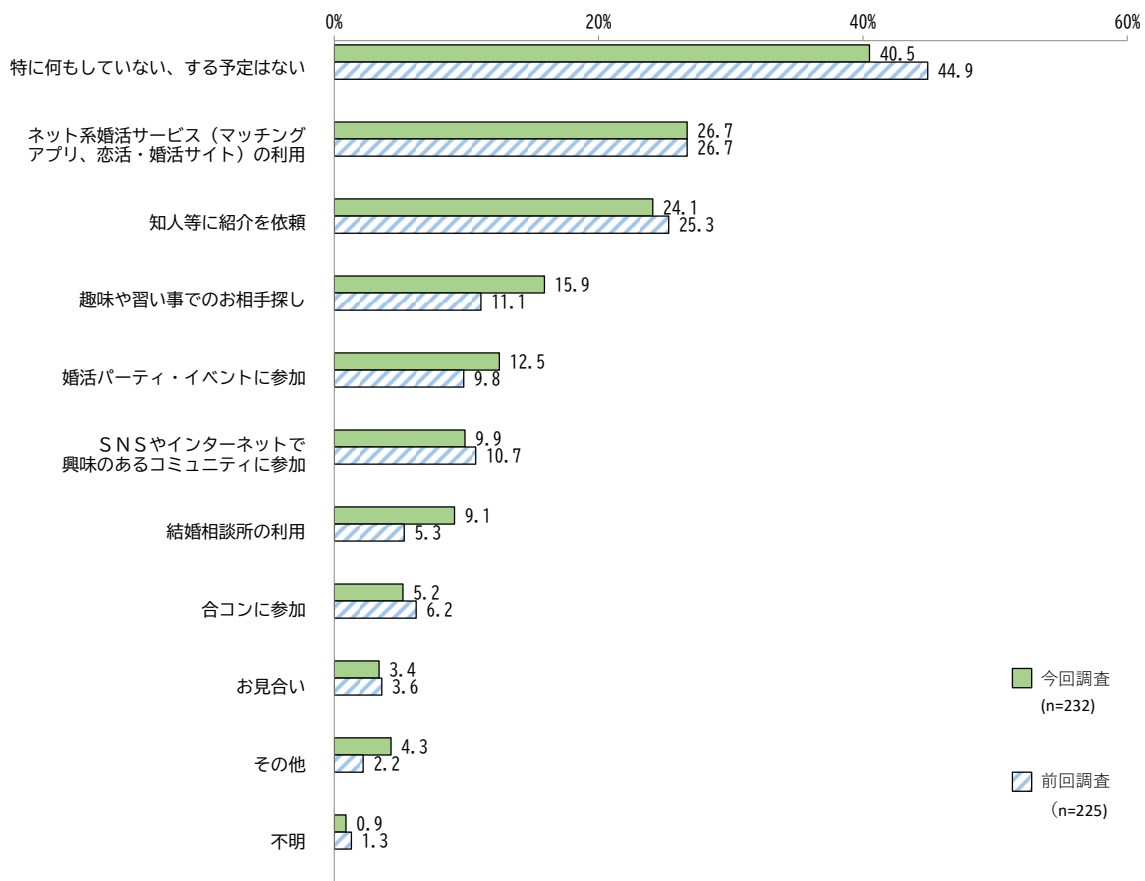
**問 3-4 問3—3で「出会いの機会がない」または「理想の相手に出会えていない」を選んだ方**におききます。

ご自身がお相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはありますか。

(○はいくつでも)

- 結婚相手を探すための方法について、「特に何もしていない、する予定はない」が40.5%、「ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用」が26.7%、「知人等に紹介を依頼」が24.1%となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「特に何もしていない、する予定はない」が4.4ポイント低く、「趣味や習い事でのお相手探し」が4.8ポイント高くなっています。

図表 9 結婚相手を探すための方法



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

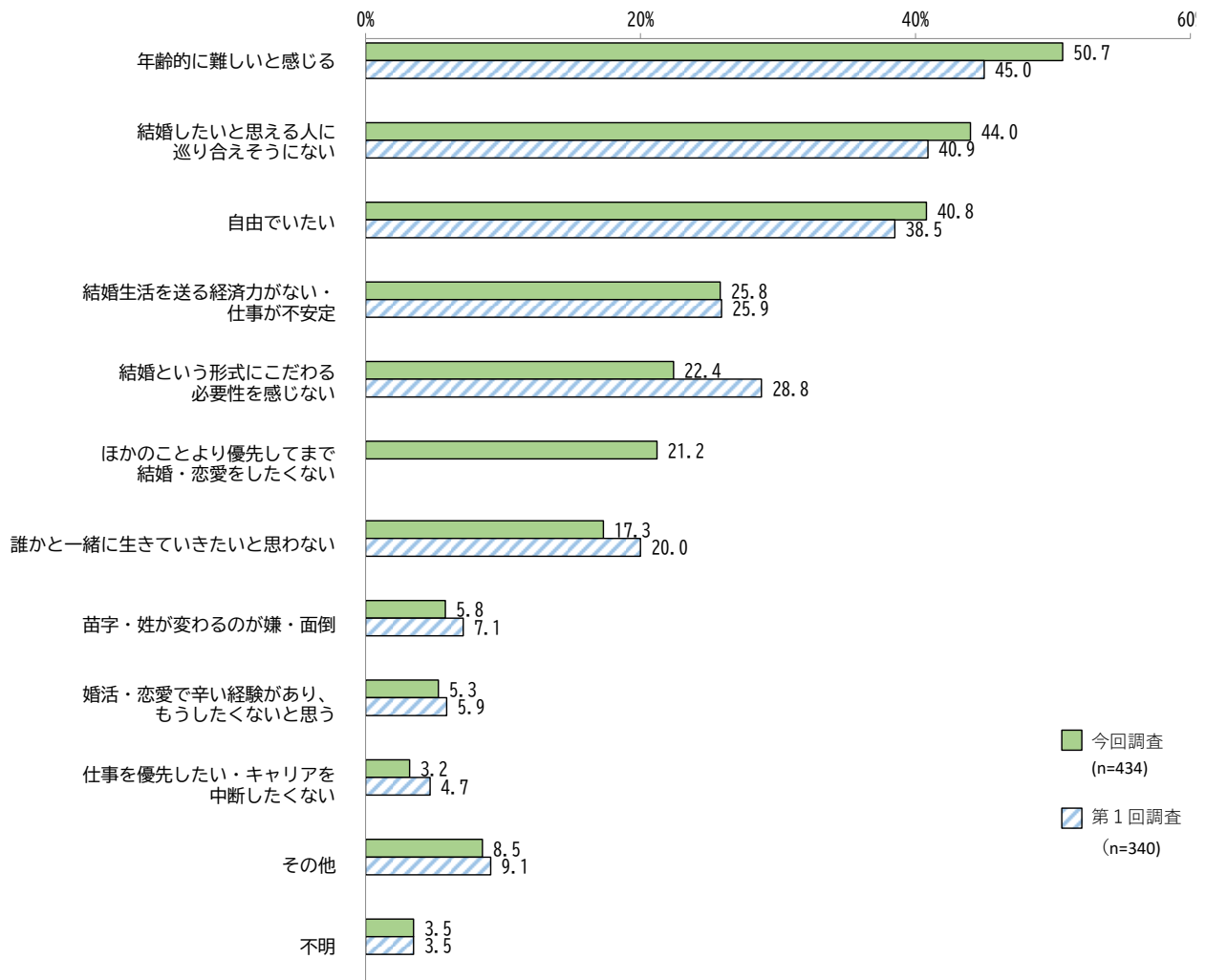
**問 3-5 問 3-2 で「結婚するつもりはない」を選んだ方におききします。**

「結婚するつもりはない」と考える理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- 結婚するつもりはない理由について、「年齢的に難しいと感じる」が50.7%で最も高く、次いで「結婚したいと思える人に巡り合えそうにない」(44.0%)、「自由でいたい」(40.8%)となっています。
- 第1回調査と比較すると、「年齢的に難しいと感じる」が5.7ポイント高く、「結婚という形式にこだわる必要性を感じない」が6.4ポイント低くなっています。

図表 10 結婚するつもりはない理由



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

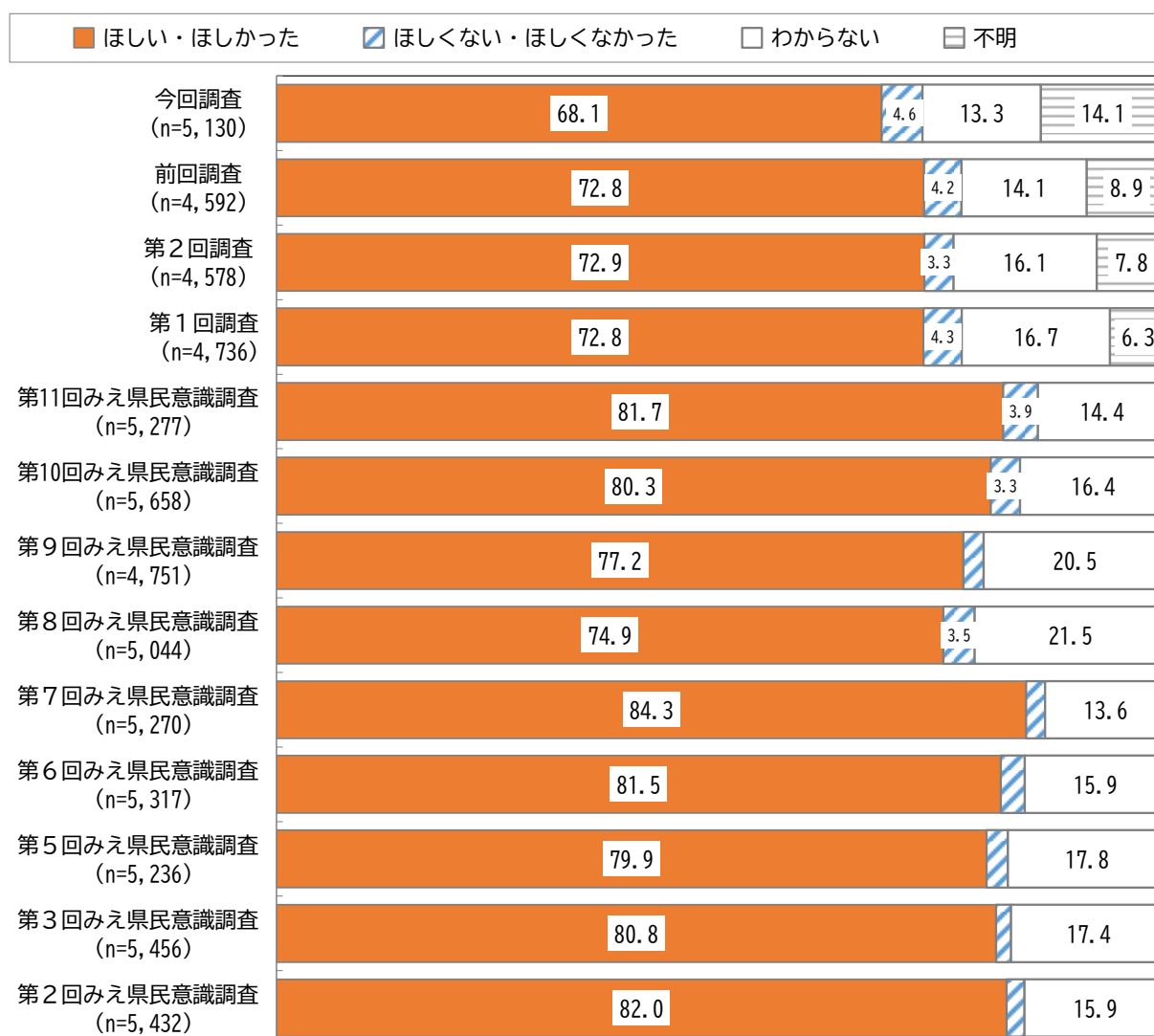
○ 子ども・子育て支援について

**問4** あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。  
理想の子どもの人数をお答えください。

➤ 子どもを希望する割合

○ 子どもの希望を質問したところ、「ほしい・ほしかった」の割合は68.1%で、前回調査より4.7ポイント低くなっています。

図表11 子どもを希望する割合

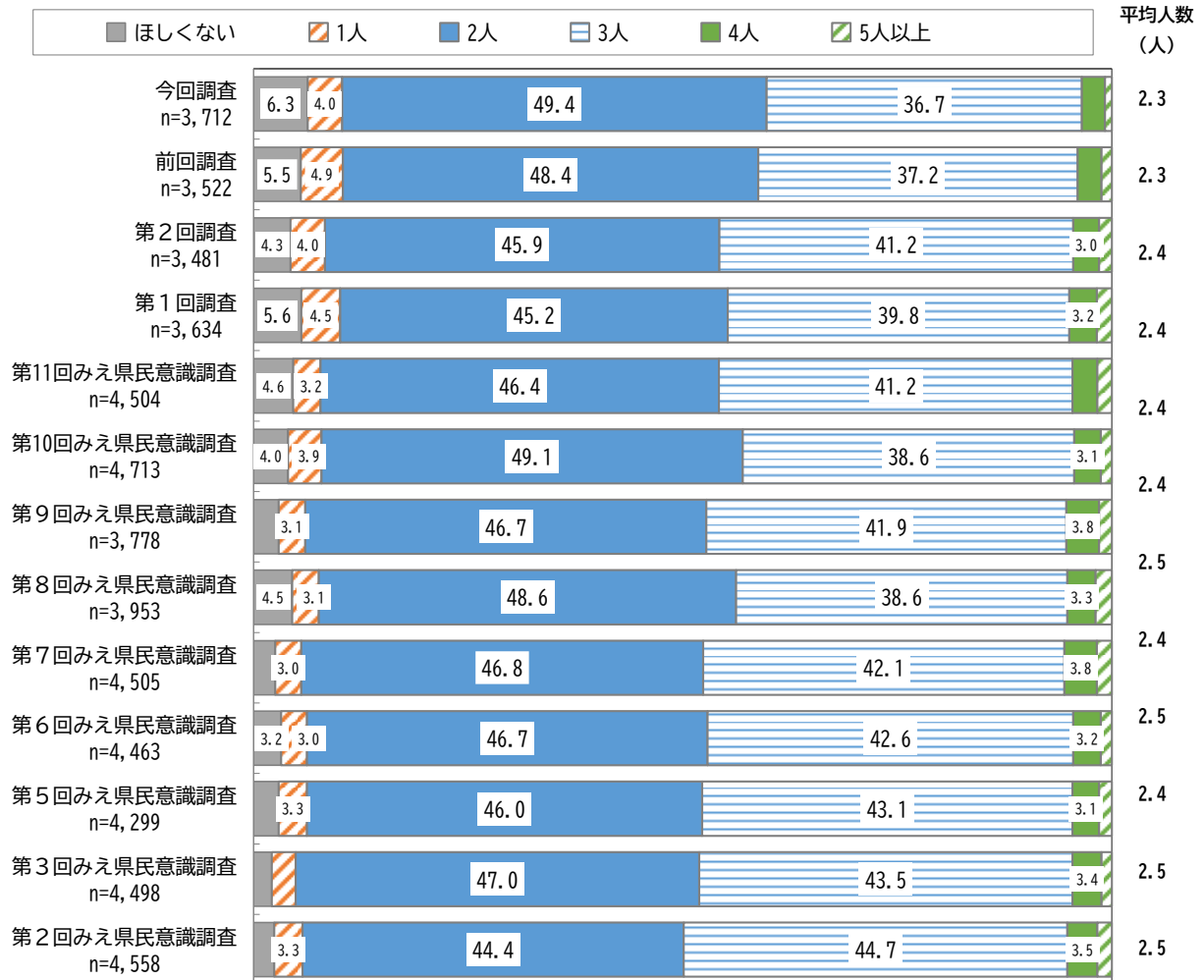


※第11回みえ県民意識調査以前は「わからない」と「不明」を合算し、「わからない」で計上

➤ 理想の子どもの数

- 理想の子どもの数について、「2人」の割合が49.4%で最も高く、次いで「3人」(36.7%)となっています。過去の調査と比較すると、前回調査から「2人」の割合が1.0ポイント、「ほしくない」の割合が0.8ポイント高くなっています。

図表 12 理想の子どもの数の推移



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

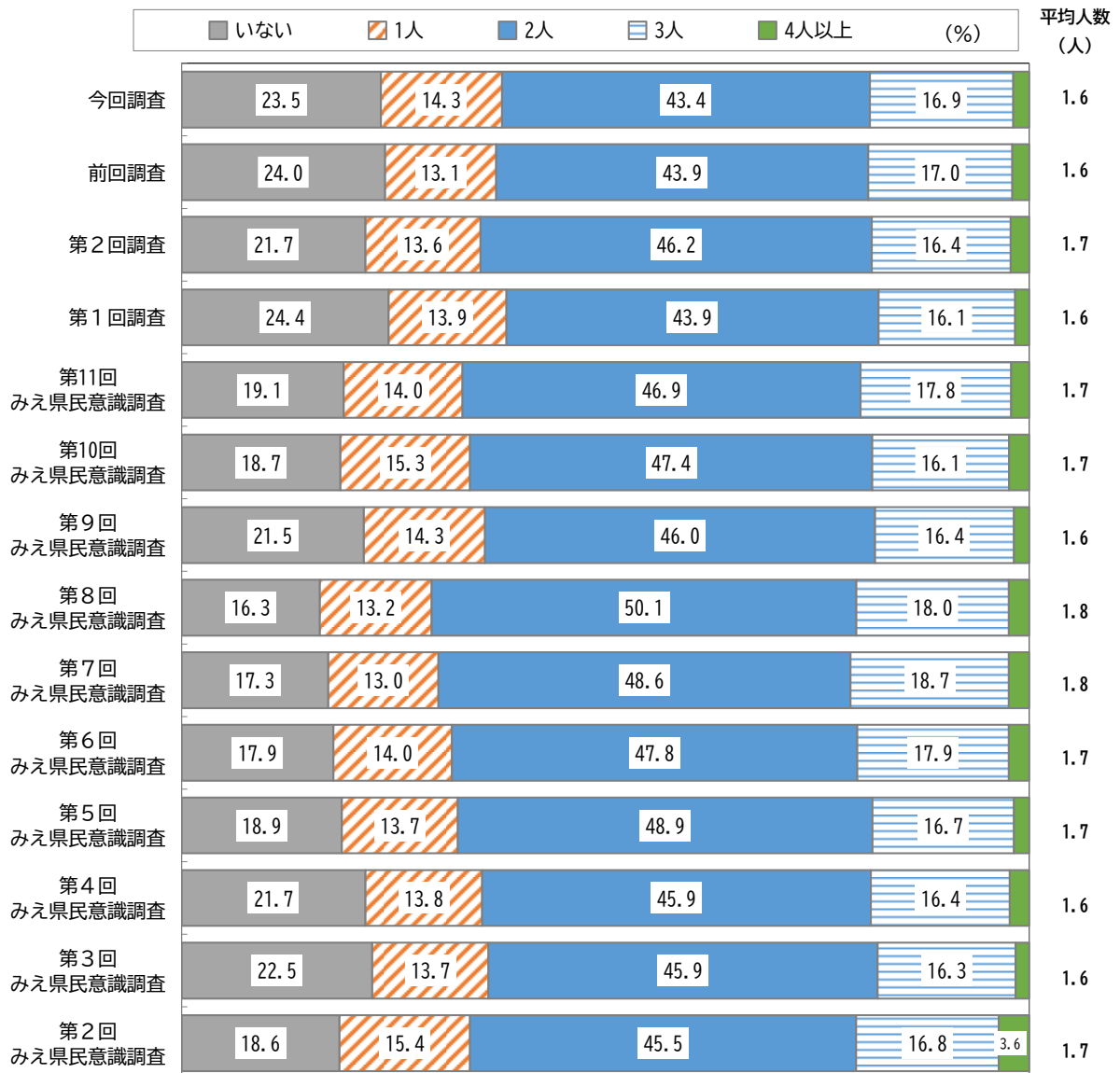
※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

**問 4-2** お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

➤ 子どもの数

- 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が43.4%、「いない」が23.5%、「3人」が16.9%、「1人」が14.3%となっています。  
 なお、回答された方の子どもの平均人数は1.6人で、前回調査と同水準となっています。

図表 13 子どもの数

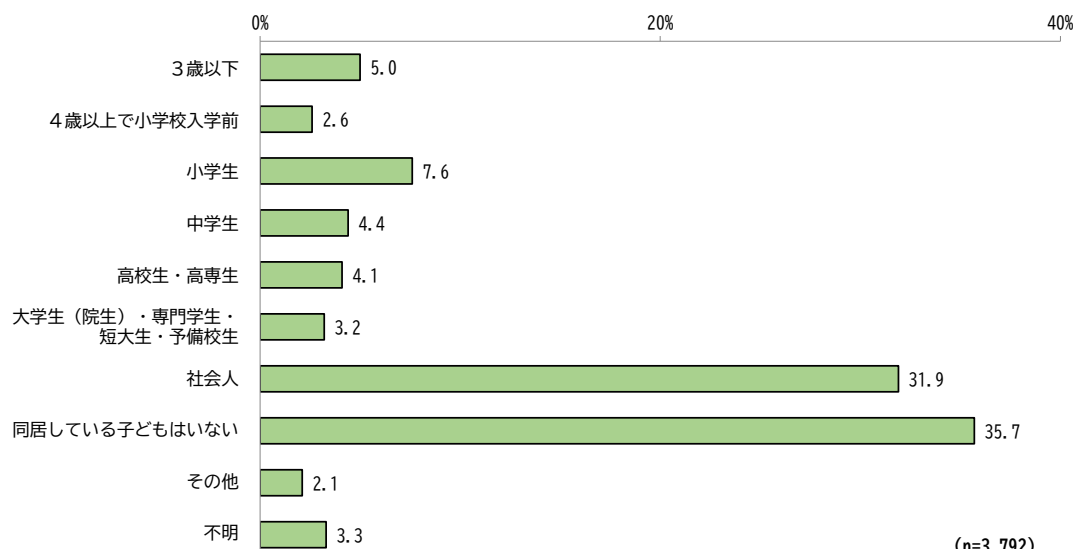


※「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出

**問 4-3** 問4-2で「子どもがいる」を選んだ方におききします。同居されているお子さんの内、一番下の方の年齢あるいは学齢をお答えください。

- 同居している子のうち一番下の方の年齢あるいは学齢について、「同居している子どもはいない」の割合が35.7%で最も高く、次いで「社会人」(31.9%)、「小学生」(7.6%)となっています。

図表 14 同居している末子の年齢



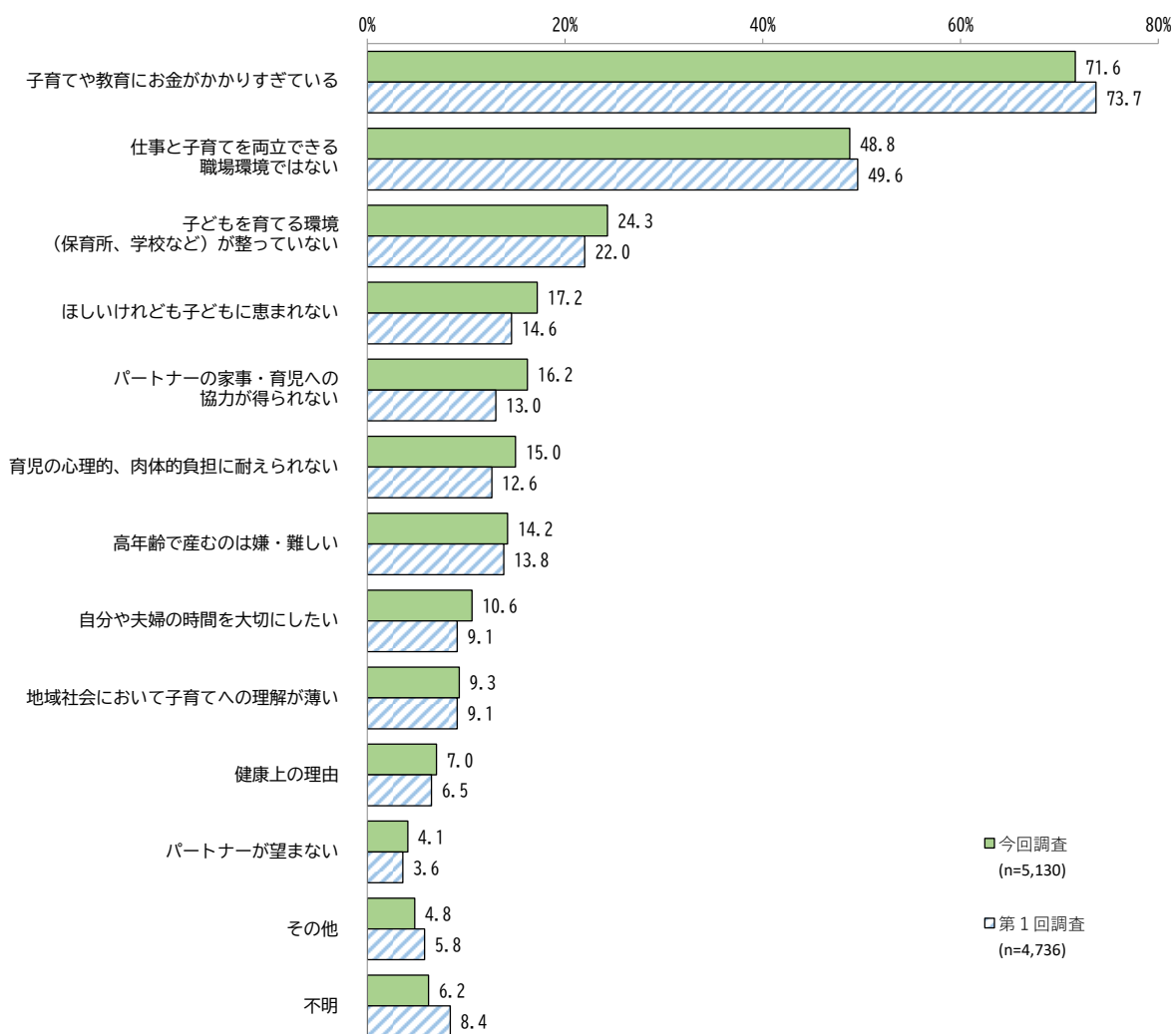
※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

**問 4-4** これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少ないという傾向がでています。この理由として、あてはまると思うものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない主な理由を質問したところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎている」の割合が71.6%で最も高く、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境ではない」(48.8%)、「子どもを育てる環境(保育所、学校など)が整っていない」(24.3%)となっています。
- 第1回調査と比較すると、「パートナーの家事・育児への協力が得られない」が3.2ポイント、「ほしいけれども子どもに恵まれない」が2.6ポイント高くなっています。

図表 15 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由



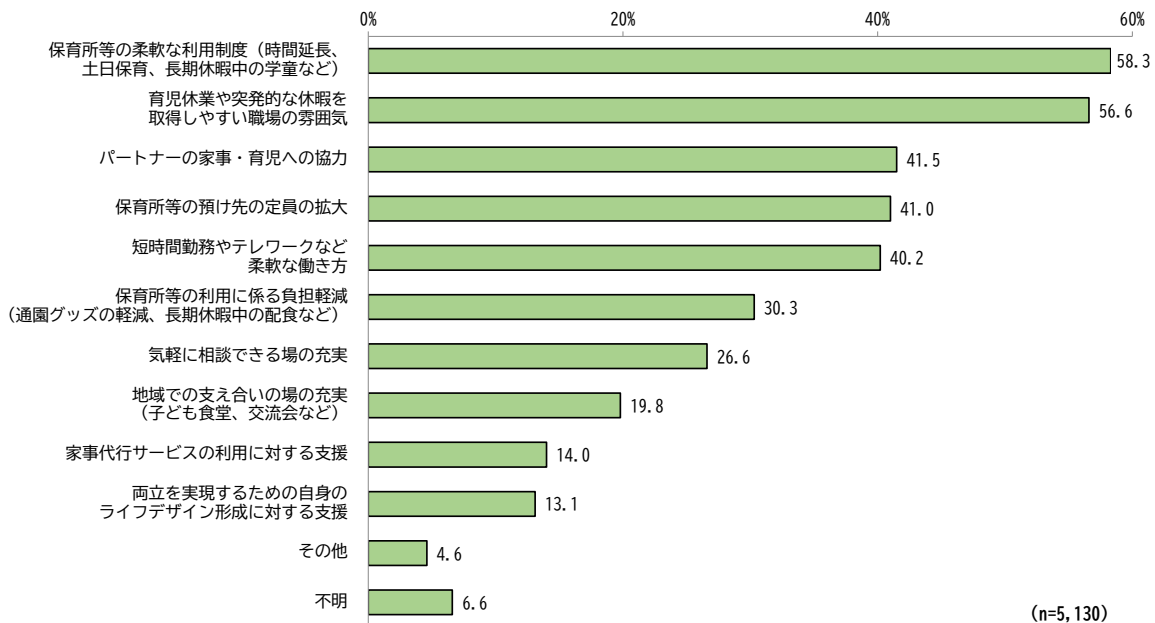
※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

**問5** あなたは仕事と子育てを両立する上で何が重要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 仕事と子育てを両立する上で何が重要だと思うかについて、「保育所等の柔軟な利用制度（時間延長、土日保育、長期休暇中の学童など）」の割合が58.3%で最も高く、次いで「育児休業や突発的な休暇を取得しやすい職場の雰囲気」(56.6%)、「パートナーの家事・育児への協力」(41.5%)となっています。

図表 16 子育てと仕事を両立する上で必要だと思う対策



※本質問の回答割合（%）は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

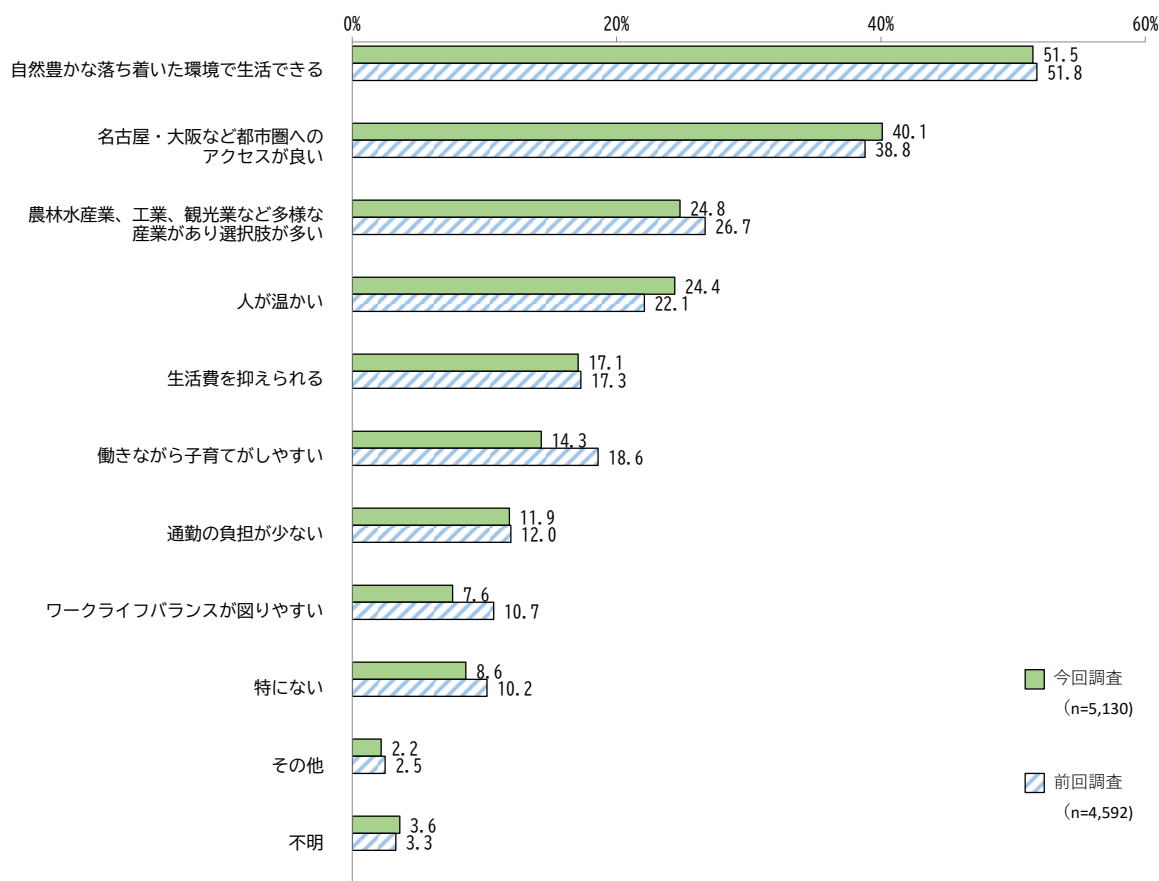
○ 人材確保について

**問6** 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。

(○は3つまで)

- 三重県で働く方を増やすために、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うかについて質問したところ、「自然豊かな落ち着いた環境で生活できる」が51.5%で最も高く、次いで「名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い」(40.1%)、「農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い」(24.8%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「人が温かい」(24.4%)が2.3ポイント増加、「働きながら子育てがしやすい」(14.3%)が4.3ポイント、「ワークライフバランスが図りやすい」(7.6%)が3.1ポイント減少しています。

図表 17 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

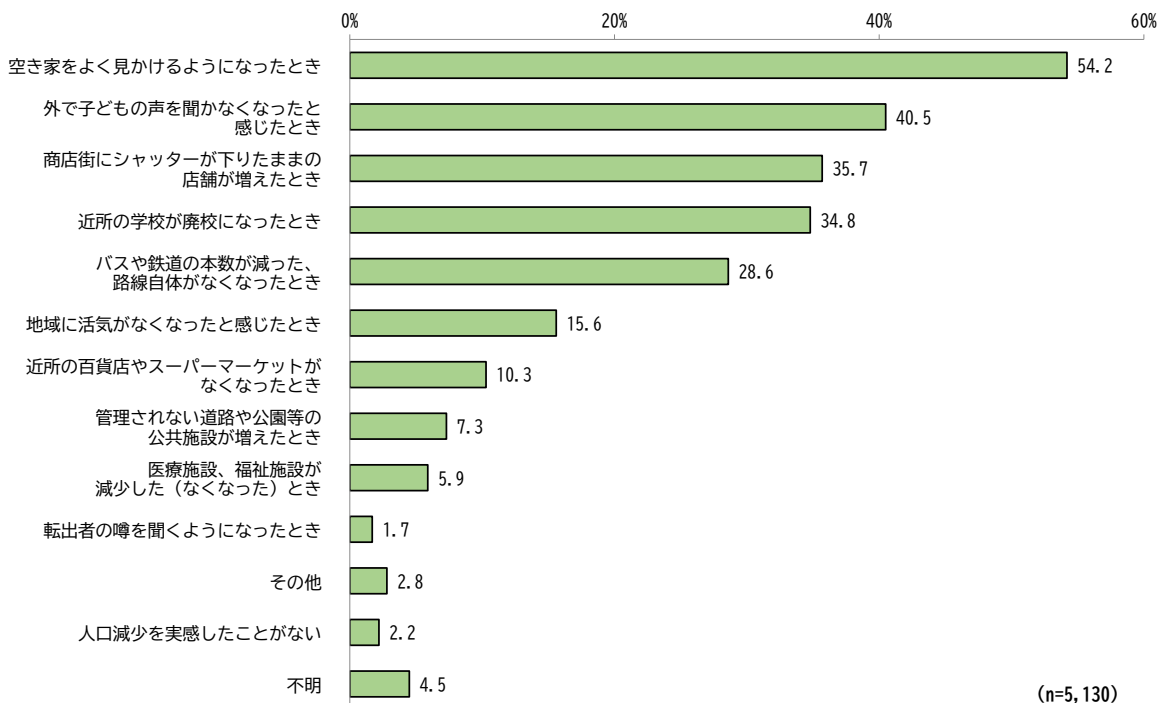
## ○ 人口減少対策について

**問 7** これまでのことについてお聞きします。あなたが実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面はどのような場面ですか。

(○は3つまで)

○ 実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面について質問したところ、「空き家をよく見かけるようになったとき」が54.2%で最も高く、次いで「外で子どもの声を聞かなくなったと感じたとき」(40.5%)、「商店街にシャッターが下りたままの店舗が増えたとき」(35.7%)となっています。

図表 18 実際に人口減少・少子高齢化を実感した場面について



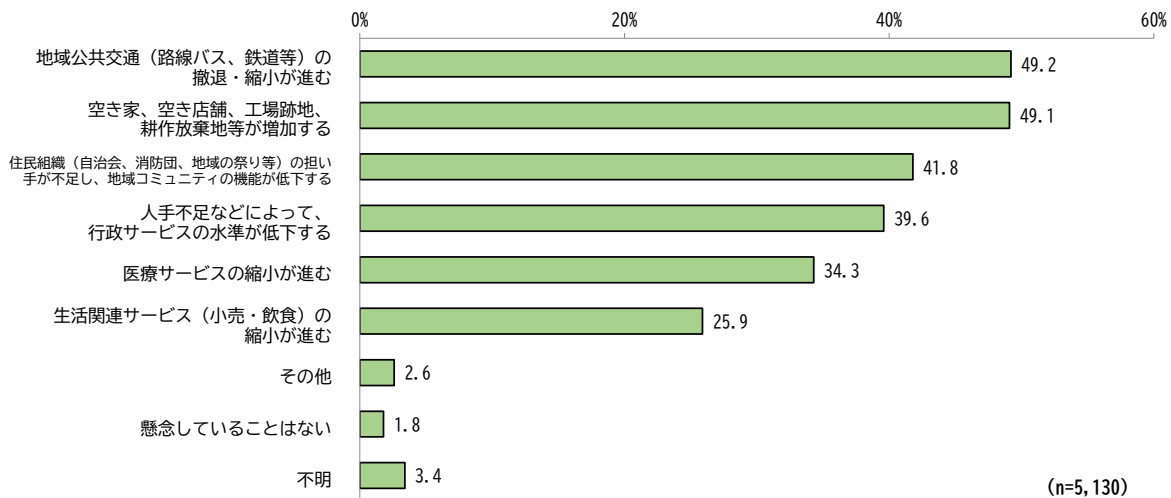
※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

**問 8** これからのことについてお聞きします。人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することはどのようなことですか。

(〇は3つまで)

- 人口減少・少子高齢化が進行することで懸念することについて質問したところ、「地域公共交通（路線バス、鉄道等）の撤退・縮小が進む」が49.2%で最も高く、次いで「空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等が増加する」（49.1%）、「住民組織（自治会、消防団、地域の祭り等）の担い手が不足し、地域コミュニティの機能が低下する」（41.8%）となっています。

図表 19 人口減少・少子高齢化が進行することで懸念すること



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

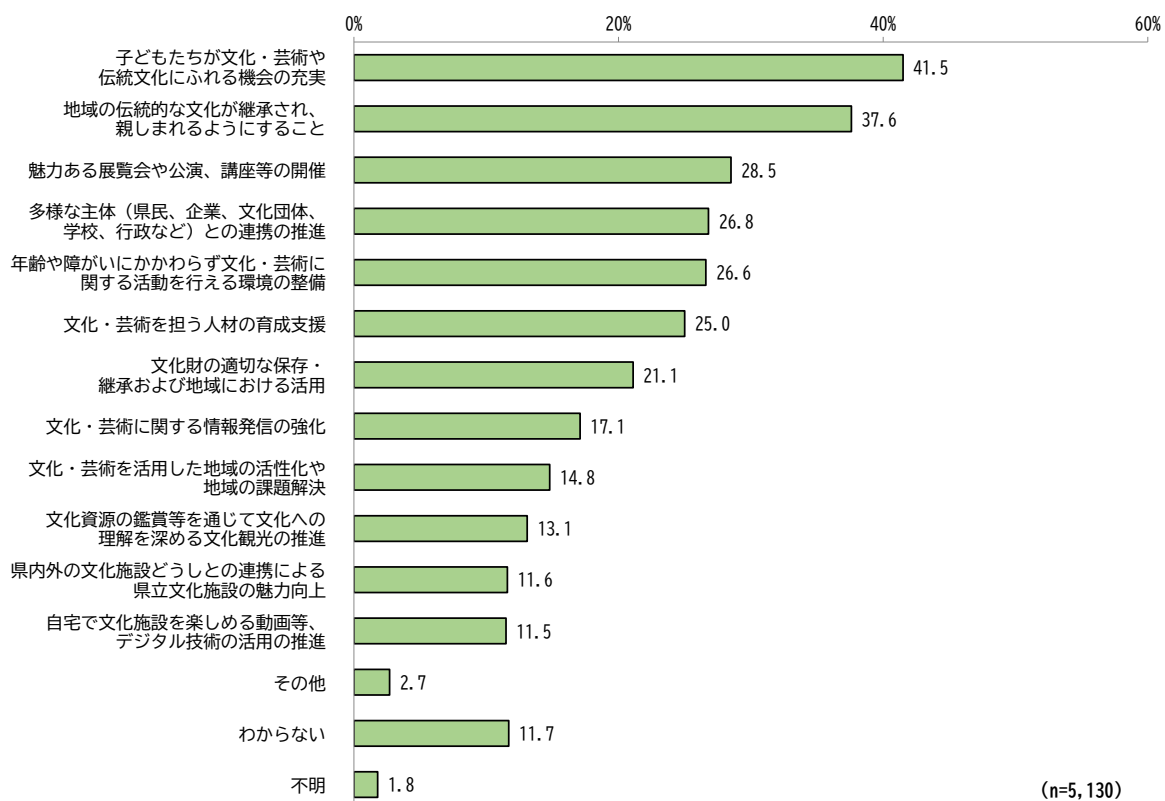
## ○ 文化振興について

**問9** 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。

(○はいくつでも)

- 県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思うかについて質問したところ、「子どもたちが文化・芸術や伝統文化にふれる機会の充実」が41.5%で最も高く、次いで「地域の伝統的な文化が継承され、親しまれるようにすること」(37.6%)、「魅力ある展覧会や公演、講座等の開催」(28.5%)となっています。

図表 20 今後力を入れるべき文化振興施策



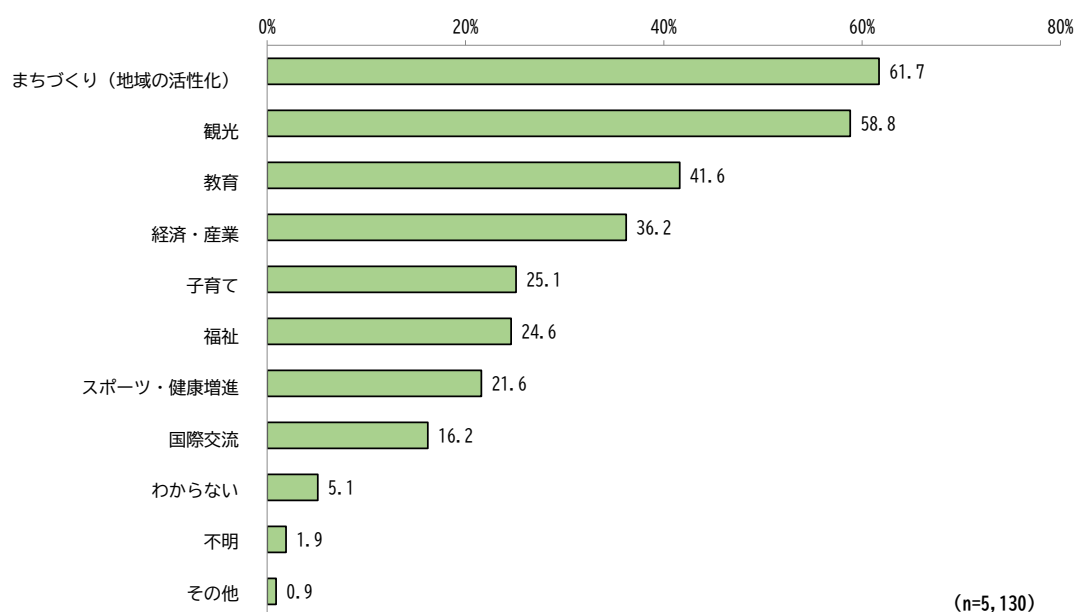
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

**問 9-2** 文化は、観光やまちづくりなど様々な分野と連携することで、新たな価値が生まれ文化の発展につながることが期待されています。あなたは、文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。

(〇はいくつでも)

○ 文化・芸術をどのような分野に生かしたら良いと思うかについて質問したところ、「まちづくり（地域の活性化）」が61.7%で最も高く、次いで「観光」（58.8%）、「教育」（41.6%）となっています。

図表 21 文化・芸術を生かすべき分野



※本質問の回答割合（%）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

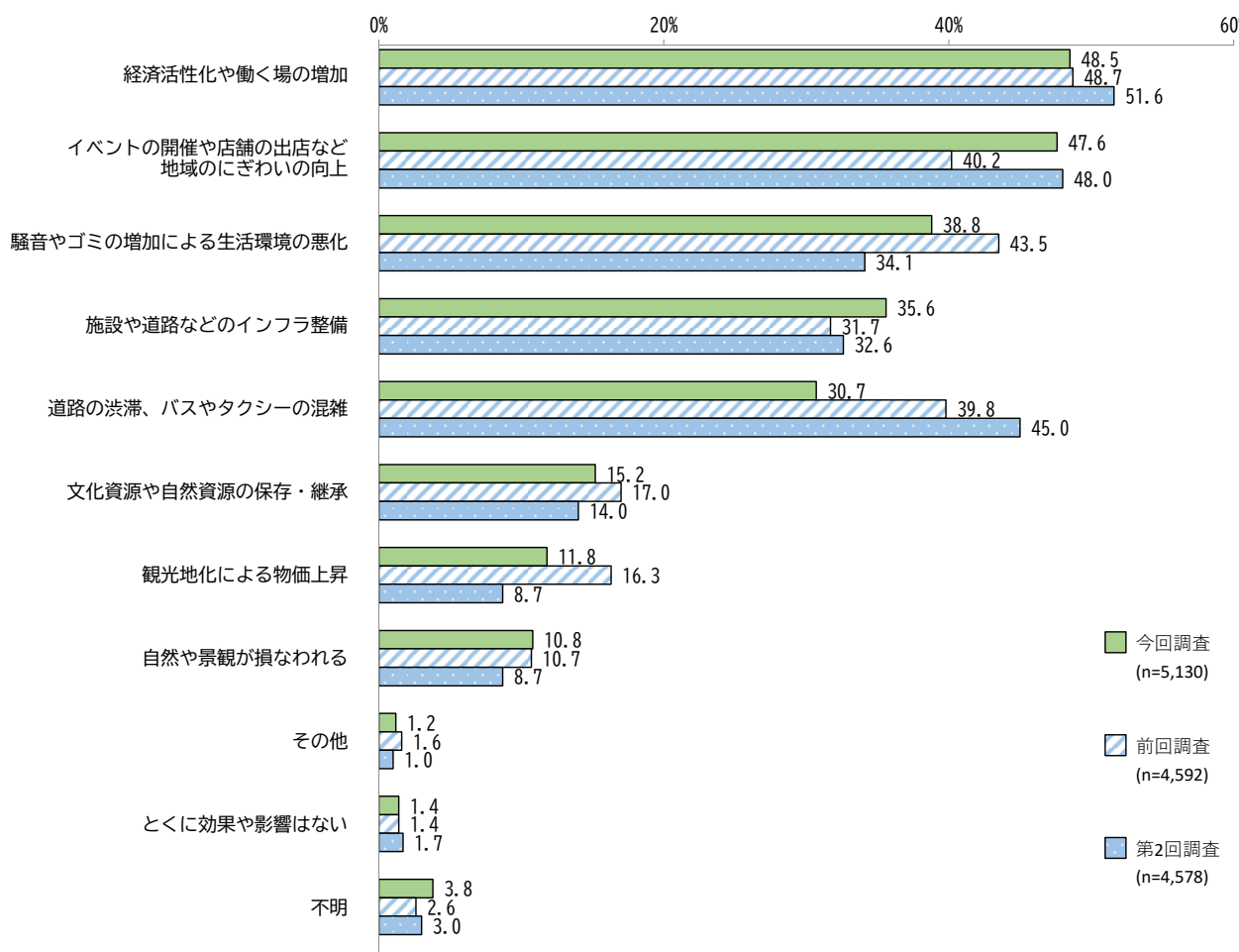
## ○ 観光について

**問 10** あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。

(○は3つまで)

- 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うかについて質問したところ、「経済活性化や働く場の増加」が48.5%で最も高く、次いで「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(47.6%)、「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(38.8%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(47.6%)が7.4ポイント増加、「道路の渋滞、バスやタクシーの混雑」(30.7%)が9.1ポイント減少しています。

図表 22 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか



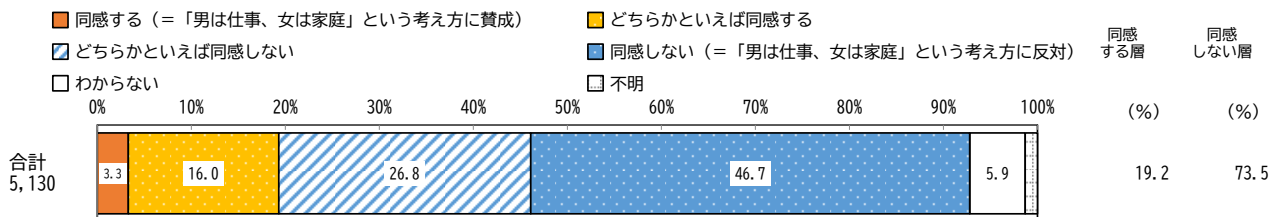
※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

## ○ ジェンダーギャップの解消について

**問 11** 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

- 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うかについて質問したところ、「同感しない層」の割合が73.5%で、「同感する層」の割合(19.2%)より54.3ポイント高くなっています。

図表 23 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか



※ 「同感する層」の割合・・・「同意する」と「どちらかといえば同意する」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※ 「同感しない層」の割合・・・「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

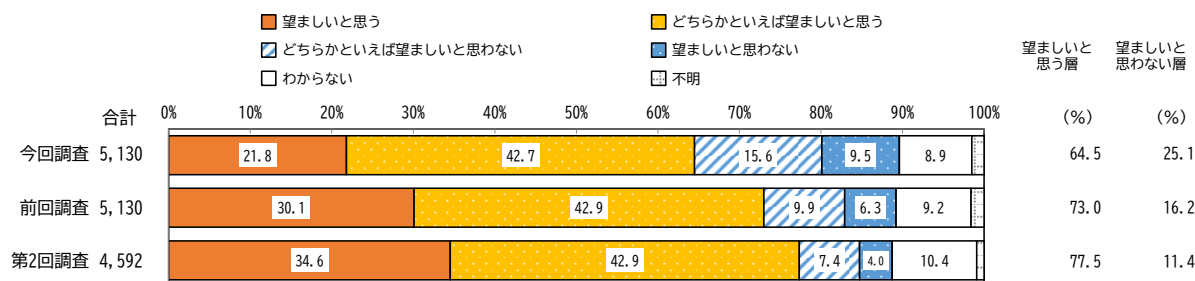
※ 本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

○ 共生社会について

**問 12** あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく共生社会についてどう思いますか。

- 共生社会についてどう思うかについて質問したところ、「望ましいと思う層」の割合が 64.5% で、「望ましいと思わない層」の割合（25.1%）より 39.4 ポイント高くなっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「望ましいと思う層」が 8.5 ポイント減少し、「望ましいと思わない層」が 8.9 ポイント増加しています。

図表 24 共生社会についてどう思うか



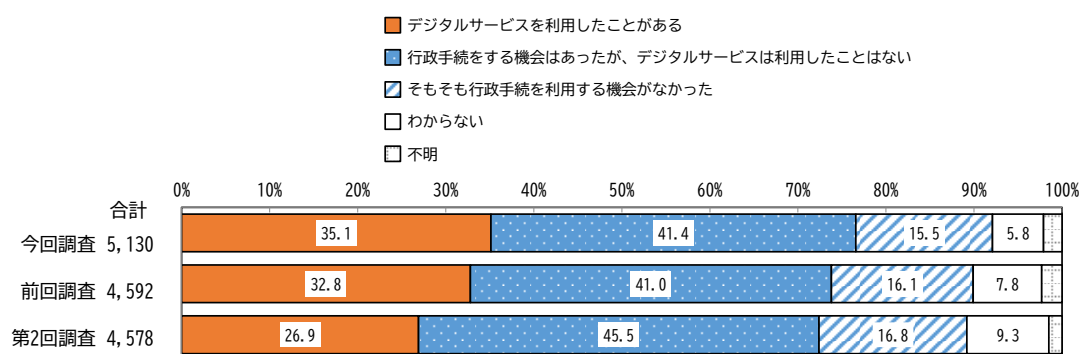
※「望ましいと思う層」の割合・・・「望ましいと思う」と「どちらかといえば望ましいと思う」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値  
 ※「望ましいと思わない層」の割合・・・「望ましいと思わない」と「どちらかといえば望ましいと思わない」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値  
 ※本質問の回答割合（%）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

## ○ デジタルの活用について

**問13** あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

- 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるかについて質問したところ、「行政手続をする機会はあったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が41.4%で最も高く、次いで「デジタルサービスを利用したことがある」(35.1%)、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(15.5%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、「デジタルサービスを利用したことがある」(35.1%)は第2回調査から増加傾向にあり、前回調査からは2.3ポイント増加しています。「行政手続をする機会はあったが、デジタルサービスは利用したことはない」(41.4%)は前回調査から0.4ポイント増加、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(15.5%)は0.6ポイント減少しています。

図表 25 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか

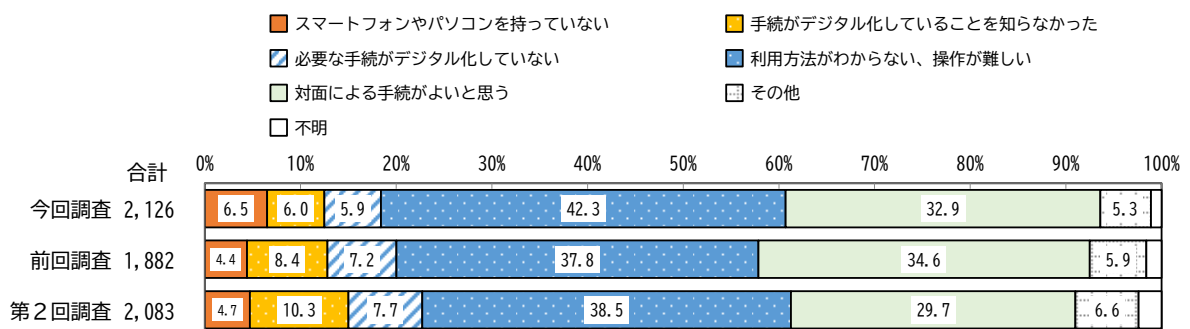


※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

**問 13-2** 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由は何ですか。

- 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由について質問したところ、「利用方法がわからない、操作が難しい」の割合が42.3%で最も高く、次いで「対面による手続きがよいと思う」(32.9%)、「スマートフォンやパソコンを持っていない」(6.5%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、前回調査から「利用方法がわからない、操作が難しい」(42.3%)はら4.5ポイント、「スマートフォンやパソコンを持っていない」(6.5%)は2.1ポイント増加しています。一方、「手続きがデジタル化していることを知らなかった」(6.0%)は2.4ポイント、「対面による手続きがよいと思う」(32.9%)は1.7ポイント減少しています。

図表 26 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由



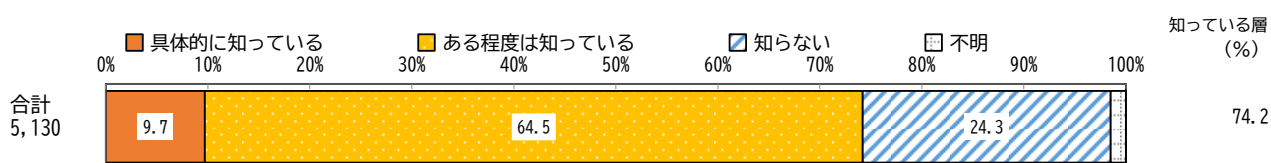
※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

○ 災害について

**問 14** 三重県では南海トラフ地震や内陸直下型地震が発生した際の地震被害想定調査の結果を公表していますが、お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定を知っていますか。

○ お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定を知っているかについて質問したところ、「知っている層」の割合が74.2%で、「知らない」の割合（24.3%）より49.9ポイント高くなっています。「知っている層」の内訳は、「ある程度は知っている」の割合が64.5%と高く、「具体的に知っている」の割合が9.7%となっています。

図表 27 お住まいの地域における震度予測や津波浸水予測などの被害想定への認知度



※ 「知っている層」の割合・・・「具体的に知っている」と「ある程度は知っている」の回答者数の合計の割合を小数第二位で四捨五入した値

※本質問の回答割合（%）は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

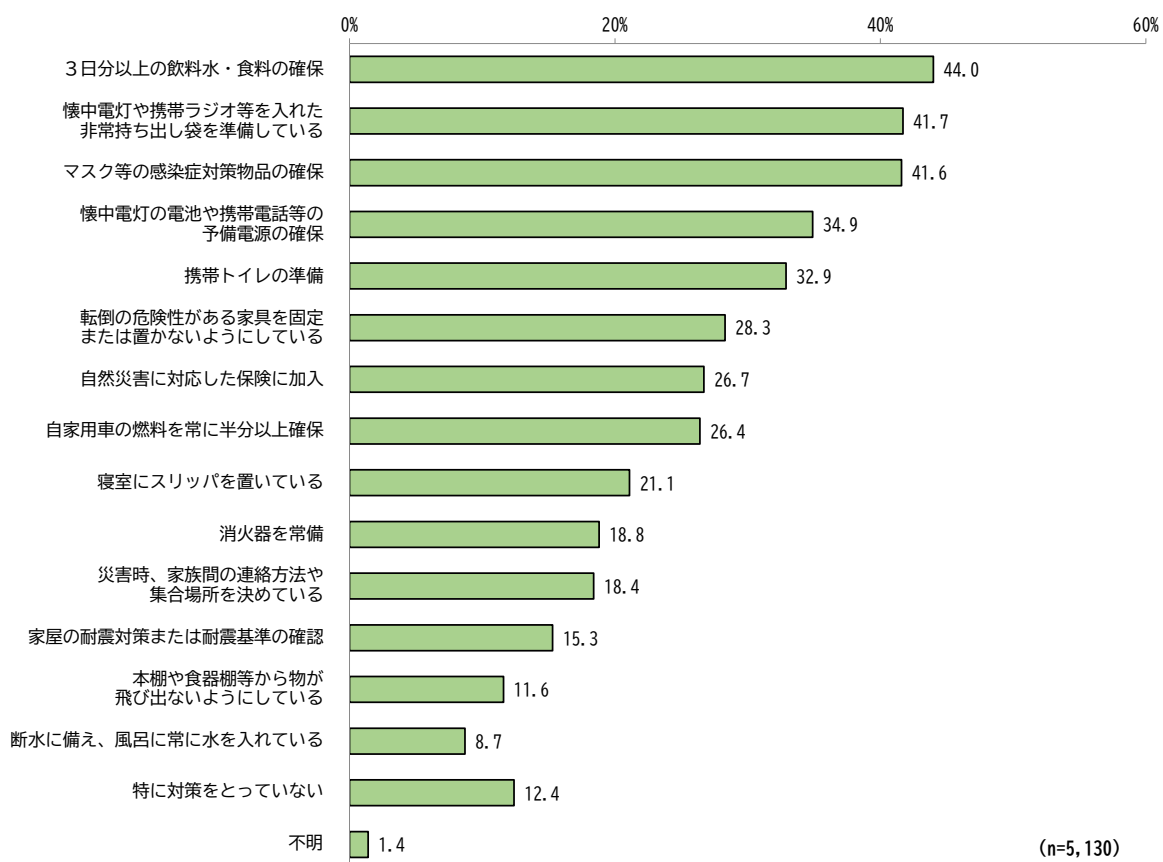
**問 15** 南海トラフ地震について三重県で大きな被害\*が想定されています。災害から身を守るためにどのような防災対策を行っていますか。

\*令和7年3月に公表された国の被害想定で、最大津波高2.6m、死者2.9万人。

(〇はいくつでも)

- 被害から身を守るために行っている防災対策について質問したところ、「3日分以上の飲料水・食料の確保」の割合が44.0%で最も高く、次いで「懐中電灯や携帯ラジオ等を入れた非常持ち出し袋を準備している」(41.7%)、「マスク等の感染症対策物品の確保」(41.6%)となっています。

図表 28 災害から身を守るためにどのような防災対策を行っているか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出